

## みんなの好奇心と向学心に

### 応えるプログラムづくり

北九州市立鞆ヶ谷市民センター館長 中西智恵子

#### 【 地域の概要 】

戸畑区は、北九州市のほぼ中央の海沿いに位置し、面積は約 16.7 平方 k m<sup>2</sup> で市全体の約 3.4% を占める。高齢化率は 27.1%。人口は市内で最も少ない約 6 万人が居住する。

鞆ヶ谷小学校区は戸畑区の東南に位置し、小高い山や緑地公園、美術館、ホテルの舞う川などのある自然の恵み豊かな地域である。人口は約 4,100 人、世帯数は約 1,800 世帯。高齢化率 20.0% のこの校区は、高齢化率 10.9% の自治区と 34.2% の自治区から成り、地域が一体となって自然保護や環境保全、まち美化活動に取り組んでいる。

#### 【 市民センターについて 】

2005 年 1 月、北九州市内に 126 館、概ね小学校区に 1 館ずつ整備された。2013 年 1 月現在では、市民センター 129 館と市民サブセンター 5 館が整備されている。市民センターは、社会教育活動(公民館機能)やコミュニティ活動(住民自治)など「人づくり・地域づくり」につながる幅広い活動の地域拠点施設としての役割を備えていて、北九州市が公募する館長と主に小学校区で構成するまちづくり協議会が雇用する職員とで運営している。また、市民センターの日常的な管理業務もまちづくり協議会に委託し、各校区がそれぞれの地域性に合せた組織づくりや地域活動を展開しているため、まちづくり協議会の数だけ実態があるといえる。

#### 【 市民センターを拠点とする主な地域活動 】

市民センターを拠点とする主な地域活動には、①防犯防災活動(安全安心の地域づくり)、②環境保全活動(自然環境・社会環境保護)、③保健福祉活動(介護予防と健康づくり、友愛訪問)、④青少年の健全育成活動、⑤子育て支援活動(乳幼児、その保護者等の見守り)、⑥生涯学習の推進、⑦小規模なインフラ整備等がある。

このような中で、生涯学習推進活動に限っては、まちづくり協議会の組織する部会などが取り組む活動とは別に、市民センターの館長と職員等が進める(いわゆる行政主導型)講座等の事業がある。

#### 【 市民センターにおける生涯学習推進活動 】

市民センターにおける生涯学習推進活動には、①生涯学習市民講座、②人権問題市民講座、③家庭教育学級、④子ども講座(地域・子ども交流事業)、⑤センタークラブ、ボランティアグループの育成支援、⑥文化祭行事、その他がある。

## 【 紹介する事業の内容 】

### (1) 事業の概要

- ・事業名：生涯学習市民講座「鞆福おもしろ庵」
- ・目的：多種多様な視点から生涯学習分野への関心を深める
- ・実施：市立鞆ヶ谷市民センター（北九州市教育委員会）
- ・連携等：鞆ヶ谷校区まちづくり協議会
- ・期間①：6月5日(火)～7月3日(火) 期間②：10月2日(火)～10月30日(火)
- ・対象：どなたでも（定員：40名）
- ・場所：主として北九州市立鞆ヶ谷市民センター（北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町 3-17）
- ・参加費：交通費、昼食代、保険料、入館料、材料費等自費負担

### (2) 事業の内容

| 春・夏の講座<br>鞆福おもしろ庵VI・暮らしing スタディ |  | 秋・冬の講座<br>鞆福おもしろ庵VII：生活史・四方山文化 |   |
|---------------------------------|--|--------------------------------|---|
| 1                               | 6/5(火)：「身近なくらしの法律」<br>～ 私産管理・譲渡と相続 ～     | 1                              | 10/2(火)：「生活文化雑感」<br>～ 戦争と平和の目撃者より ～               |
| 2                               | 6/12(火)：「介護医療のはなし」<br>～ これからの暮らしと介護 ～    | 2                              | 10/9(火)：「縁は“偉”なもの」<br>～ ビデオ：おじいちゃんのトマト～           |
| 3                               | 6/20(水)：「市議会傍聴と小倉城散策」                    | 3                              | 10/16(火)：「九州国立博物館&太宰府」<br>～ ヨーロッパ美術の400年 ～        |
| 4                               | 6/26(火)：「人権学習：慣わしと人権」<br>～ 縁は異なるもの味なもの ～ | 4                              | 10/23(火)：「楽習・終活の心得」<br>～ 消費生活者のための<br>エンディングノート ～ |
| 5                               | 7/3(火)：「田川市石炭歴史博物館見学」<br>～ 山本作兵衛原画展を歩く ～ | 5                              | 10/30(火)：「人権学習・仏教文化講座」<br>～ 吾・唯・足・知～              |

当市民センターでは、概ね年4講座、1講座あたり4から5プログラムで企画構成する。また、1年に2回開催する人権講演会も、市民講座の中に組み入れて公開講座として実施。若い世代は就労者が多く、受講生の大半は年長者と校区外の方である。内容や開催日時の都合で受講生の半数は常連の方で占めるが、口コミによる宣伝が功を奏し、回ごとに応募者は増加している。4月と9月には戸畑区内全センター一斉に講座案内をし受講生の募集をする。開講一週間前のハガキによる案内通知やタイムリーなティータイムの気遣いも受講生の増加の一因になっていると思う。

## 【 活動の実際、内容 】



◇終活の心得・・  
休憩時間が必要な時には温かいお茶の用意も！



反省：懸垂幕や横断幕を上手に活用！講演中も企画の意図をしっかりと伝えること。

◇臨場感に変化！  
ビデオ学習、体験型学習、ワークショップ等、席の配置も時どき工夫して・・・



◇「郊外学習」は季節感と時宜を得たテーマを注入受講生も再来！



## 【 企画の工夫 】

学習要素の濃かった昭和年間の「公民館」は、「硬い・暗い・近寄り難い」「時間とお金と健康に恵まれた年長者の行く所」というイメージが一般的だった。 職員の民間登用が始まった時期と前後して、「学校週五日制の導入」など公民館での子ども講座の実施や公民館から市民センターへの移行期にかかったことなどを契機に利用者の層も徐々に変化した。

市民センターが「幅広い地域活動の拠点」として機能するようになって、今日では「地域づくりや人づくり」の拠点としてイメージアップ、注目されている。

鞘ヶ谷市民センターでは春・夏期と秋・冬期とに分け、生涯学習市民講座を開講するが、市民センターによっては年間をとおして企画し、年中講座として取り組むところもある。

利用者の方との日常的な会話、受講生の方からのアンケートによる意見や要望等を参考に、概ね次の事柄を視点に置いて企画会議を持ち、内容、開催日時、報償費を検討、講師交渉を進めていく。

- ① 性別、年代層、ジャンルを問わないタイトル選び、② 誰もが無理なく継続できる内容を企画
  - ③ 時宜を得たテーマと季節感を織り込む、④ 活かし合い、繋がる場の提供（人材発掘と育成）
  - ⑤ 地域の実状と独自性を踏まえた特色づくり、⑥ 行政部局や行政関連機関の出前講座の活用
  - ⑦ 専門職の方やクラブ講師との細かい打合せ、⑧ ボランティアやセンター職員への協力依頼
- 好奇心を揺り動かすタイトル選びや語句の選び方が、集客率に無関係でないことも都度学習した。

## 【 成果と課題 】

市民講座の受講生や地域活動をはじめとする様々なボランティア活動に意欲を燃やし関心を持つ方たちが、好奇心旺盛で向学心に燃え、問題意識を無限に持っていることも再認識できた。

そうした盛り上がりを学習テーマとしてどうまとめ、展開させていくか。今後ますます、市民センターにおける生涯学習分野での館長の視点や力量が問われ、館長自身の自己啓発が課題視されていくと思う。

館長職が公募制になって 10 余年。近年、北九州市では、社会教育・生涯学習の世界は初めてという館長も増えている。「習うより慣れろ」という声も聴くが、やはり、学習や実践経験豊富な先輩諸氏のご指導、地域や NPO 等との連携、職員とのチームワークを抛り所に、“集い、繋がり、学びあう楽しさを感じる講座” 企画に向け、お互いもっともっと学習を重ねていく必要があると思う。今は亡き大先輩の社会教育主事からいただいたことばである。「何事も、決して面倒だと思わないこと」。これが一番大きな課題かもしれない。

問合せ先：〒804-0024 北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町 3 - 1 7

北九州市立鞘ヶ谷市民センター

TEL&FAX：093-881-1039 E-mail：sa-cc@ktqc02.net